



令和7年度 宇都宮市立御幸が原小学校 グランドデザイン



新キャラ「みはらっ子」

日本国憲法 教育基本法
学校教育法・施行規則
小学校学習指導要領

栃木県教育振興計画2025
第2次宇都宮市学校教育推進計画
後期計画（基本目標1～6）
うつのみやいきいき学校プラン
小中一貫教育カリキュラム
学校マネジメントシステム
宇都宮元気っ子プロジェクト

【教育目標】

人権尊重の精神を基盤に、児童が多様な人々との「協働」を通して、自ら考え未来を創造し
たくましく生き抜く人間力の基礎を培う。

学校経営の理念及び方針（目指す学校像）

経営理念

社会変化に柔軟に対応し、新しい時代を
生き抜く力の育成

- ・自ら考え行動しながら、自己表現できる機会の創出
- ・仲間との協働の中で豊かな人間性を育む教育活動の展開
- ・教職員の熱意と英知を集結し、活気に満ちた教育環境の醸成

経営方針

- 児童が力を発揮するとともに、仲間のよさを認め合いながら、新しいことに挑戦する。
- 教職員が児童のよさを認め、課題に寄り添いながら「ほめて励ます」指導を行う。
- 家庭・地域・地域学校園と連携し、目標を共有しながら教育課程の具現化に努める。
- 基礎学力の定着を図るとともに、知識を活用する力の育成に努める。
- 教職員が組織力を生かして課題に対峙し、支援機能の向上と勤務時間の適正化を図る。

成長する学校
居心地のよい学校
開かれた学校
深い学びのある学校
組織が機能する学校

目指す児童像

発 見

新しい知との出会いや初めての経験を通し
て、自分の可能性や仲間のよさを発見する児童

挑 戦

明確な目標をもち、仲間と協力しながら困難
な課題に取り組み、前向きに夢を追う児童

創 造

日々の学びの中から、新しい自分や多様な価
値観を生みだし、時代を築く力をもった児童

今年度の重点目標 「自己肯定感の涵養」「規範意識の高揚」「主体的に学びに向かう力の育成」 ～「スーパーみはらっ子」の取組を通して～

『学校経営』

- ◆ 教職員が学校の課題を共有し、方向性を明確にして解決に向かう学校組織の機能向上
- ◆ 児童一人一人が自分の居場所をもち、仲間と認め合いながら、力を発揮できる場の創生
- ◆ 地域社会や保護者への積極的な情報発信による信頼関係の構築と地域教育力の活用
- ◆ 業務改革による児童と向き合う時間の創出

『学習指導』

- ◆ 自分自身の目標や協働して学びに向かう活動を通した主体的に学びに向かう力の育成
- ◆ 習熟度別学習やICTの効果的な活用による学習内容の確実な定着と理解の深化の追究
- ◆ 特別支援教育の充実
- ◆ 校内研究の推進

『児童指導』

- ◆ 認め励ます指導を通した自己肯定感の涵養と、目標をもち活動に主体的に取り組む態度の育成
- ◆ 規範意識の高揚と、多様性を理解し仲間と認め合いながら伸びていく集団の形成
- ◆ SNS、通信型ゲームを起因とする問題行動の早期把握と指導体制の構築

『健康（体力・保健・食・安全）』

- ◆ 児童が運動能力に関する自分の課題を知り、楽しみながら体力向上を図る体育活動の充実
- ◆ 「健康・安全」「食」に関する課題の把握と、実践力を伴う生活改善の意識の育成
- ◆ 感染症拡大防止に関する正しい知識の理解と、生活習慣の確立

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】 自分でよく考え、未来に向かって たくましく生きる子供の育成

写真（上から）
「漢字オリンピックメダリスト」
「学習支援ボランティア」
「学級対抗長縄大会」

写真（上から）
「スーパーみはらっ子メダル」
「健康スタンプラリー」
「校内授業研究会」